

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2009.06.June 臨時号

民主県民クラブ 知事に要望書

真の経済対策に

民主県民クラブでは、5月25日に知事に対して経済対策にかかわる補正予算について要望書を提出しました。

決められ地方へは補助金という形で事業メニューが示され、それを島根県ではどの事業をどれだけするのか決めることとなります。

そして地方独自で取り組めるものは、約100億円の地域

活性化・経済危機対策臨時交付金などを財源とするものです。

6月22日から開会する定例会議で審議することになります。が、地域経済の再生、生活の立て直しに役立つ形のものにしなければなりません。

民主県民クラブでは、地域独自で予算が組めるものは、県民の生活に視点を置き、雇用の確保と地域経済の活性化につながるべく、教育・福祉分野に重点を置いて予算を組むよう要望しました。残念ながら、私は常任委員会開会中で参加できませんでし

民主県民クラブから副知事に要望書を渡す



たが、民主県民クラブの総意として要望書は提出されました。

文教厚生委員会に所属

5月12・13日の2日間、臨時議会が開催され、常任委員会等の委員の改選が行われました。

私は、常任委員会は文教厚生委員会に、特別委員会は中山間地・離島調査特別委員会に所属することになりました。新たな委員会では、これからはがんばります。

また、広報委員会は変わらず委員として所属することになりました。

さて、文教厚生委員会での私の席は、委員長のすぐ横です。普通は、委員長・副委員長が上の席に、そしてその両側に期数の多い議員から順番に座るので、ベテラン議員の「若い者はしっかり勉強せんといいん」とのご配慮で、上座に近い席となりました。ただ、ベテラン議員の本音は、よく席を立つので、席を空けても目立たないところに座りたいというのが実のところのようです。

6月定例会 会議日程	
6月22日(月)	本会議
25日(木)	本会議(一般質問)
26日(金)	本会議(一般質問)
29日(月)	本会議(一般質問)
30日(火)	本会議(一問一答)
7月1日(水)	本会議
2日(木)	常任委員会
3日(水)	常任委員会
6日(水)	特別委員会
7日(水)	特別委員会
9日(水)	本会議

(注)正式な日程は開会日に決まります。詳細については事務所(☎28-8880)にお問い合わせください。

専門性を高め
質の高いサービスを

5月25日の文教厚生委員会では、国への重点要望、今年度主要事業、新型インフルエンザ対策などについて説明がありました。

幸いにも今回の新型インフルエンザは弱毒性ということ想定されていた新型インフルほど心配しなくてもよいようですが、これを教訓にインフルエンザが猛威をふるう季節までに対応を検討していかなければなりませんし、新型インフルエンザについて県民の理解を深めていくことも必要です。

また、教育面では子どもたちへの対応や学校図書館の充実など様々な課題があり、それらのことに対応していくために教職員も専門性を高めることや、あるいは免許更新など、いろいろな研修を受ける機会が多くなります。授業への影響や教職員の皆さんの負担の増大

などが懸念されます。そのようなことがないよう対応されるよう要望しました。

また、今年度に情緒障害児短期療養施設の整備に取り組みますが、医師等の確保が難しいと聞いていたのでその対応について聞きました。医師確保に努めるが常任の医師が確保できない場合は、非常勤で必要な人員が確保できるように開設に向けて支障がないように法人と協力していくとの答弁がありました。新たに設置する施設です、少しでも質の高いサービスが提供できる施設になるよう、県の努力を願います。

平和を守る自治体活動

5月7日、自治労中国地連自治体議員連合の総会及び学習会が広島でありました。今、中国地方には、自治労組織内及び協力議員の県市町村議会議員は48名で、島根県は広島に次いで多く16名います。

学習会では、広島市立大学広島平和研究所講師の河上暁弘



先生の「今、憲法と地方自治を考える市民自治と平和の憲法理論」と題して講演がありました。

国々が恐怖と欠乏から逃れ、貧困をなくすための真の平和を実現するのは、自治体のノウハウを活かした国際活動である。一番困っている人をどうやったら助けられるかという自治体の活動は平和理念につながる。その活動を補完するのが国であって、防衛・安全保障は国の専権事項ではない。自治体が戦争できない協力関係を作ることによって平和が守れるというお話は勉強になりました。

国を守るのか、人を守るのかの視点で違ってくる国民保護法、真の国民の平和的生存権を保障できるものにするために

も、自治体の活動は重要ですし、それを決める議会はしっかりと討論できる場にしなければいけません。

中海干拓事業
森山堤開削工事完了

5月30日、鳥取県境港市にある農林水産省中四国農政局中海干拓事務所で行われた中浦水門撤去・森山堤防開削完成報告会に行ってきました。

この会の主催者として、石破茂農林水産大臣が挨拶され、その中で営農者に農水省の思いが伝えられなかったことを反省する弁がありました。営農者の思いは農水省がどれだけ汲み取っているのでしょうか。

平井知事は挨拶で、「両県が一緒になって豊饒の中海をよみがえらせよう」と呼びかけられました。これからも両県が一緒になって県民の目線で中海地域の再生に取り組む、今日がその礎となること祈ります。



完成した森山堤開削部を船で通り初め

式典の後、出席者は船に乗り込み、開削部を通り初めました。この森山堤の開削によって本庄工区にも海水が流れ込み、水産資源にも変化が起こってくると思いますが、どう変化していくのか、豊穰の中海を蘇らせるためにもしっかりと、これから調査研究していくことが大事です。